

総合計画における 節ごとの 進捗状況評価一覧

総合計画における節ごとの進捗状況評価一覧

第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち

数値目標	共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	—
------	---	---

上段：指標数 下段：割合

重要業績 評価指標	A	B	C	計
	7	6	3	16
	44%	38%	19%	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
「その人らしく生きること」 1 お互いに支え合う福祉のまち		①地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築	地域包括支援センターが担当した相談支援のうち、多機関との協働を実施した件数が、3 包括支援センター合計で年120件になっている。	A
		①健康づくり・食育の推進	国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の伸び率を、県平均以下に抑制している。	B
医療・保健・福祉が連携した 安心・健康長寿のまち		②感染症予防対策の推進	予防接種対象者への個別通知の送付率100%を維持している。	A
		③地域医療体制の推進	「一番不便または不満に感じる事柄」について、「医療施設が整っていない」と回答する人の割合が20%以下になっている。	A
		④地域自殺対策の推進	自殺者数が0人になっている。	C
		①健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み	元気高齢者の割合が83%になっている。	B
高齢者が住み慣れた地域で、 安心して暮らせるまち		②介護サービス等の保険給付	特別養護老人ホームの待機者数が100人以下になっている。	B
		①子どもの発達段階に応じた継続的な支援	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。	A
障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち		②障がいのある人の居住支援	市内におけるグループホームの施設数が12か所になっている。	A
		③障がいのある人の就労支援	福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人数が18人/年になっている。	A
		④バリアフリーの推進	「障がいや障がいのある人に対し、社会全体の理解が進んできた」と回答する人の割合が66%以上になっている。	B
		⑤地域生活支援拠点等の充実	緊急時の受け入れ・対応の対象となるハイリスク者の登録者数が30人になっている。	A

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
5 誰もが心豊かに 子育て・子育てできるまち	①妊娠前からの子育ての相談・支援の充実	保健師及び助産師が、乳児がいるすべての家庭を訪問し、相談に応じている。	B
	②子育てを支える取り組みの推進	ファミリー・サポート・センターに登録している支援会員（両方会員を含む）の登録人数が550人になっている。	B
	③幅広い保育ニーズに対応できる体制づくり	保育所等入所待機児童が0人になっている。	C
	④子どもたちの居場所づくりの推進	体験学習施設「スマイル」の主催講座の延べ参加者数が2,000人/年になっている。	C

第2節 共に学び、共に育つ「共育（きょういく）」のまち

数値目標	共に学び、共に育つ「共育（きょういく）」のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	—
------	--	---

上段：指標数 下段：割合

重要業績 評価指標	A	B	C	計
	8	2	0	10
	80%	20%	0%	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち		①学習機会の提供による社会教育の推進	講座事業において、各分野（現代的課題、地域課題、家庭教育）3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。	A
		②生涯を通じた学習活動の支援	市内で活動する生涯学習団体の総数が400を超えている。	B
		③地域で子どもと大人が共に育つ学習環境の整備	世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人を超えている。	A
2 文化を新たに創造するまち		①文化芸術活動の推進（継承と創出）	逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。	A
3 スポーツを楽しむまち		①スポーツの推進	成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%以上になっている。	B
4 学校教育の充実したまち		①教員の指導力及び教育課題への対応力向上	児童・生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」に「授業がよくわかる」「学校が楽しい」の項目を設け、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が80%以上になっている。	A
		②子どもの発達段階に応じた継続的な支援	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。	A
		③ICTを活用した授業と情報教育の推進	「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力等の実態の項目」のうち「授業にICTを活用して指導する能力」「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の「できる」「ややできる」の回答が80%以上になっている。	A
		④地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進	地域講師を活用した授業を各小・中学校で年3回実施する。	A
5 ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち		①文化財保護の推進	市指定文化財の数が24件に増加している。	A

第3節 自然と人間を共に大切にするまち

数値目標	自然と人間を共に大切にするまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	—
------	--	---

上段：指標数 下段：割合

重要業績 評価指標	A	B	C	計
	8	4	1	13
	62%	31%	8%	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 自然を大切にするまち		①自然の回廊の保全と活用	自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。	C
		②みどりの保全と緑化の推進	公園への花苗の植栽が、年2,500個以上となっている。	A
		③公園の活用及び維持管理	「現在の逗子のイメージ」について、「気軽に行ける公園や広場が整備されている」と回答する人の割合が、過去5年の平均で25%以上になっている。	B
		④河川環境の保全	アダプトプログラムにより市民が活動している河川管理の箇所数 6箇所 親水施設整備 4箇所	A
		⑤良好で持続可能な逗子海岸の推進	国際環境認証であるブルーフラッグを継続して取得している。	A
2 廃棄物による環境負荷の少ないまち		①ごみの発生量・排出量の削減	市民1人当たりのごみ排出量が1日当たり797g以下になっている。	A
		②生ごみの減量化・資源化の推進	家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ9,010件以上になっている。	B
		③安心・安全で持続可能な廃棄物処理システムの構築	環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行い、年間20,000tの焼却処理を行っている。	A
		④紙ごみの減量化・資源化の推進	燃やすごみに含まれる紙ごみが36.7%以下になっている。	B
		⑤資源化品目の拡大	資源化率が61.4%以上になっている。 最終処分率が0.3%以下を維持している。	B
		⑥ごみ処理の広域連携の推進	鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を行っている。 葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を行っている。	A

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
3 カーボンニュートラルを実現するまち	①2050年カーボンニュートラル実現の推進	市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を導入する。	A
4 暮らしと景観に配慮したまち	①景観まちづくりの推進	景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を活用した啓発活動を年3回以上実施する。	A

第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち

数値目標	安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	—
------	--	---

上段：指標数 下段：割合

重要業績評価指標	A	B	C	計
	9	8	3	20
	45%	40%	15%	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1	良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち	①計画的なまちづくりの推進	市を取り巻く環境の変化による条例運用上の課題等に早急に対応するため、3年ごとに土地利用に係る3条例等の見直しを行う。	A
		②空き家対策と利活用	空き家バンク等の施策誘導を通して、解消された空き家が中期実施計画期間中累計で35件になっている。	A
2	災害に強く、犯罪のない安全なまち	①自主防災組織育成の推進	防災ハンドブックを更新し、各種訓練、イベント等で配布し、世帯数の80％以上に配布している。	B
		②災害対策に係る整備の充実	津波避難ビル（民間施設）の指定数が21施設以上になっている。	B
		③避難行動要支援者への支援の確立	個別避難計画の作成率が35％以上になっている。	B
		④消防力の充実	防災拠点としての機能強化を図るため、老朽化した分団詰所3箇所の整備が進められている。	A
		⑤建築物等の耐震化の推進	耐震改修工事の補助金により耐震化された住宅が中期実施計画期間中累計35件になっている。	C
		⑥浸水対策の推進	2025年度末までに、田越川準用河川浸水想定区域図及び内水浸水想定区域図を作成し、浸水被害が予想されるエリアの周知を行う。	A
		⑦防災・消防・防犯分野の連携の推進	各関係機関と連携を図り、刑法犯発生率が0.15％以下となっている。	C
		⑧犯罪のないまちづくりの推進	防犯メール登録者数が21,000人以上となっている。	B
3	歩行者と自転車を優先するまち	①歩行者と自転車を優先するまちの推進	居住地域の現在のイメージで、次に掲げる項目の数値を達成する。 ・「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」と回答する人の割合が10％以上になっている。 ・「自転車を利用しやすいまち」と回答する人の割合が10％以上になっている。	B

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
4 都市機能の整った快適なまち	①公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施	JR東逗子駅前用地活用に係る構想、計画のもと、2027年度末までに整備した施設が利用されている。	A
	②バリアフリーのまちづくりの推進	金沢新道踏切について改良工事が完了している。	A
	③都市環境の改善	防災工事費助成件数が中期実施計画期間中累計で182件になっている。	C
5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち	①逗子海岸保全活用事業の推進	海水浴客数が40万人になっている。	B
	②商工業振興の推進	逗子市商工会の会員数が、1,300人以上になっている。	B
	③小坪漁港を中心とした小坪海浜地域活性化の推進	小坪漁業協同組合が観光等の組み合わせによる漁業体験等を事業として実施し、年間280人以上参加している。	A
	④創業への支援	創業支援事業計画に基づき、創業に至った者が中期実施計画期間中累計で50件になっている。	A
	⑤多様な働き手、柔軟な働き方の支援	女性の個人市民税所得割課税額が14%増加している。	A
	⑥観光振興の推進	入込観光客数が105万人/年になっている。	B

第5節 新しい地域の姿を示す市民主権のまち

数値目標	新しい地域の姿を示す市民主権のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	—
------	--	---

上段：指標数 下段：割合

重要業績 評価指標	A	B	C	計
	6	1	0	7
	86%	14%	0%	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 市民自治のまち		①住民による自治活動の推進	住民自治協議会が組織され、その活動が防災防犯、環境や福祉など複数の領域で実施されている。	A
		②市民活動の推進	市内で活動している市民団体が500団体になっている。	A
		③行政活動に対する市民参加の推進	パブリックコメントにおいて、1 案件当たりの意見提出数の平均が20件を超えている。	A
2 誰もが尊重され、自由で平等なまち		①人権啓発活動の推進	「逗子市は、人権が尊重されているまちだ。」と感じる市民の割合が70%を超えている。	A
		②男女平等参画の推進	「男女の地位が平等」と感じる人の割合が50%を超えている。	B
3 世界とつながり、平和に貢献するまち		①国際交流・国際理解の推進	フェアトレードの認知度が50%を超えている。	A
		②非核平和の推進	平和イベントへの参加者数が3,000人を超えている。	A